

徳島ペンクラブ通信

発行
徳島ペンクラブ
徳島市東沖洲2丁目1-13
徳島県教育印刷(株)内
TEL 088-664-6776

187号

2020年9月1日
(令和2年)

1967年(昭和42年)創立

第21回 とくしま随筆大賞



三輪 和子さん

「仙人になった夏」

準大賞 村上瑛一さん 「蒙古風」

徳島ペンクラブ主催のとくしま随筆大賞の審査が7、8月の2回にわたってあり、大賞に三輪和子さん(79) 北島町の「仙人になった夏」が、また準大賞に村上瑛一さん(89) 吉野川市の「蒙古風」が選ばれました。

今年53編の応募があり、まず一次選考委員6人(田上倉平、鈴木綾子、西池冬扇、竹内絃子、山口久雄、船越淑子)による審査の結果、12編を本審査に推薦。本審査は依岡隆児(徳島大学教授)、柏木康浩(徳島新聞生活文化部次長)、丁山俊彦(徳島ペンクラブ会長)、竹内菊世(阿波の歴史を小説にする会会長)の4選考委員により行われ、大賞、準大賞各1人のほか、優秀賞4人、奨励賞1人を決めました。

大賞に選ばれた三輪さんの「仙人になった夏」は、人生で初めて長期入院したときに気づいた人生の来し方などを丁寧に描いています。作品を読んでもくれた夫から「タイトルがいいね」「確かに母さん(三輪さんのこと)には仙人の気があるね」と褒めてくれたそうです。また準大賞に選ばれた村上さんは終戦まで旧満州に住んでいて、タイト

ルの「蒙古風」とは「黄砂」のこと。苦難の時代の思い出を描いています。表彰式は9月20日午後1時30分から阿波観光ホテルで行われます。なお大賞、準大賞作品は12月に発行される「徳島ペンクラブ選集 Part 38」に掲載されます。

● 優秀賞

「スイカズラの咲く道で」坪井壽美代さん(70) 阿南市

「山の名前」鉄線(赤松祥子)さん(56) 阿南市

「最後の夜」脇谷史江さん(77) 石井町

「シヤガ」栗谷健さん(76) 藍住町

● 奨励賞

「言霊」大本泉さん(19) 阿波市

● 入選

「人生はケ・セラ・セラ」杉本由美子さん(65) 阿南市

阿南市

「負の戦記」川口恒星さん(90) 石井町

「200字と文通と止まり木」手束雅夫さん(70) 阿波市

(70) 阿波市

「隠れ鬼」坂井陽さん(61) 徳島市

「遠い日の記憶」天竹勉さん(64) 徳島市

県民文化祭分野別フェスティバル

徳島「花」ものがたり



徳島県民文化祭の主催事業として徳島ペンクラブが取り組んでいる第22回分野別フェスティバルは、10月3、4の両日、午前10時から徳島県立文学書道館1階ギャラリィで展示が開催されます。22回目に当たる今年

年は「徳島花ものがたり」と題して、県内に生育している花を写真とともに文章（エッセーや詩歌、短歌、俳句など）を添えた61枚のパネルで紹介します。

3日午後1時半
ギャラリィトーク 参加者募集

3日は午後1時30分からパネル作成者によるギャラリィトークが行われます。トーク希望者は山口久雄（電話090・4974・7426）まで。4日は午後1時からコロナ禍のため中止されたままだったペンクラブ賞の表彰式を行い、続いて特定非営利活動法人 あわ・みらい創生社の井原まゆみ代表による「花と野菜のアート」と題した講演があります。なお、このパネル展はこの後、来年2月3日から同11日まで鳴門市のキョーエイ鳴門駅前店での開催が決まりました。このほか3月までに県内数カ所で開催の予定です。

昨年と今年の企画展パネルが冊子に

今年の県民文化祭分野別フェスティバル「徳島花ものがたり」と、昨年開いて好評だった「徳島の歴史的建造物の魅力」のパネルをまとめ、冊子にします。12月に送付予定の徳島ペンクラブ選集と一緒に送る予定です。

徳島の歴史的建造物の魅力

昨年の徳島県民文化祭分野別フェスティバルでは「徳島の歴史的建造物の魅力」を取り上げました。国の重要文化財のほか魅力的な古い建物を取り上げ、徳島ペンクラブの会員が写真を撮影、解説を加えパネル展示しました。好評だったことから今年4月からは県内各地で巡回展を開くことになり、コロナ禍のため途中で開催を断念されたこともありましたが、板野町文化の館「さくらホール」など県内3カ所を実施、来年1月28日から2月2日まで徳島市の阿波銀プラザでも実施されます。

「選集」に出版物紹介のコーナーを新設します。

会員の皆さんが出版された本（発行年を問いません）を一覧表にて「選集」の巻末に紹介したいと思えます。

書名、著者名、発行年月日、発行元、定価をハガキに書いて事務局（小松島市中田町字土持16-2 鈴木綾子方）電話090・2787・7614までお送りください。

発行の都度、事務局へお知らせくだされば幸いです。

ペンクラブ選集 Part 38 作品提出のお願い

○募集作品

随筆や評論、短編小説などの散文、俳句や短歌、連句、川柳、現代詩などの韻文を募集しています。前回と同様、散文、韻文の両部門に分けて徳島ペンクラブ賞最優秀賞、同優秀賞などを選ぶ予定です。テーマは自由です。今年の県民文化祭分野別フェスティバルのテーマ「徳島花ものがたり」にちなんだ作品も歓迎します。

これとは別に、会員全員の参加を目指し「私の好きな花」と題し80文字以内でまとめた作品も募集しています。この通信配布の際、応募用はがきを同封していますので、それに書いてお送りください。

○作品原稿

作品にはタイトルをつけ、見開き2ページ2000文字を基本として、偶数ページになるよう工夫してください。写真やイラストを入れて偶数ページにすることも可能です。

○掲載負担金

基本の見開き2ページ7000円。追加2ページは4000円です。後日、会計から送付される郵便振替などで納入してください。また「私の好きな花」については、掲載料不要です。

○原稿の締め切り

9月末日

○作品送付先

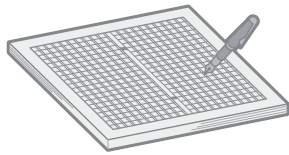
〒771-1231

板野郡藍住町富吉字須崎54 石川文彦宛

電話(携帯) 090・7624・0749

メール ishikawafumihiko@outlook.jp

メールで送られる場合は確認のため、送付後電話をお願いします。



コロナの脅威が全世界を席捲している。人類がこのまがましい敵に勝利するのはいつのことか。古来、天変地異、疫病、大戦争が起こると、流言飛語が飛び交った例が多い。

1923年9月に起こった関東大震災では、朝鮮人が暴動を起こしているとのデマ情報流れ、朝鮮人が大量に虐殺された。冷静に考えてみれば、交通、通信施設が断絶していた当時、組織だった蜂起など起こせるわけがない。しかし帝都が火の海になり、余震におびえ続ける民衆は、容易にそのデマを信じたのであった。

近現代に起こった最大のデマ情報によるパニックは、1938年米国で発生した。ときは第二次世界大戦前夜であったが、米国では平和と繁栄を享受していた。この年の10月30日、ラジオ放送された「火星人襲来」のドラマを聴

火星人襲来?

取者が真実と思い込んだことが、一大パニックにつながった。この日の夜、ラジオから「ラ・クンパルシート」のメロディーが流れていた。そのとき放送がぼったり途絶え、アナウンサーの興奮した声が聞こえた。「ここで臨時ニュースをお伝えします。」ここから臨場感に満ちた現場からの放送が流れる。「火星人が襲ってきました。軍隊が出動しましたが、火炎砲と毒ガス攻撃を受けて全滅しました」。建物の崩壊する音、避難民の悲鳴が聞こえる。放送中、これはフィクションであるとは何度も繰り返したが、聴取者のすべてが聴き取ったわけではない。恐怖がデマを生み、デマが恐怖をリアルであったため、全米がパニックに陥った。

米国で起こった騒動は、平和な社会でもありうることであり、大きな教訓となった。社会心理学では「火星人襲来」は、よき教材となっている。大衆は騙されやすい、もろいものだと痛感する。

(坂田健一)

文学旅行取りやめ

文学散歩
11月1日(日)

国府町気延山東麓



秋に予定されていたバスを使った「文学旅行」は、国内感染者数が春の倍以上になるなど依然コロナ禍が猛威を振るっていることから、取りやめることにしました。代わりに緊急事態宣言もあつて春に開催できなかった国府町気延山東麓を歩く「文学散歩」を実施します。

国府町には7世紀中ごろに阿波国府が置かれるなど、古代は政治や司法、宗教の中心地として栄えました。このため歴史的な建造物や史跡も多く、中でも国分寺の庭園は勇壮で、県の名勝に指定されています。

国分寺のほか、常楽寺や矢野遺跡なども時間があれば訪れる予定にしています。ウォーキングの途中「福屋、盛寿の郷」(和風カフェ)で和菓子とお茶を味わいたいと考えています。ぜひご参加ください。

▽実施日 11月1日(日)

▽集合時間 午後1時

▽集合場所 徳島市考古資料館駐車場

▽参加費 国分寺庭園拝観料300円、和風カフェは実費

参加を希望される方は、電話090・4508・0538(丁山会長)へ。10月20日までにお申し込みください。

新入会員

(敬称略、カッコ内は推薦人)

住友セツ子 〒770-0807

徳島市中前川町2丁目12-1 (船越副会長)

訃報

扶川 茂さん(令和2年7月12日逝去)

小学校教諭をしながら詩作に励み、詩壇の芥川賞といわれている日氏賞候補に挙げられたことも。徳島現代詩協会の設立に加わり、平成11年から同28年まで会長を務められました。(合掌)

受賞

渡辺 恵子さん

「プラスアルファのエキス」で日本訪問販売協会40周年記念エッセーコンクール最優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。

会員募集しています

お知り合いの方で徳島ペンクラブに興味をお持ちの方をご紹介ください。

お知らせください

書籍の出版や受賞、そのほか文芸関係で会員にお知らせしたいことなどがありましたら、お知らせください。

後記

コロナ禍も夏になったら一旦終息するのではと思っていました。大都市に続いて4月16日に全国に緊急事態宣言が拡大されたときには、何で徳島まで宣言する必要があるのか、と疑問に思っていました。徳島でも罹患者が急増しており、いろんな催しが予定通り開催できるのを祈るばかりです。